

10月29日(日)・大会2日目 14:00~16:00 (会場: BIG ホール 100) (120分)

●特別セッションⅡ

テーマ: データ・サイエンスと組織

「見えないものが見えてくるとき、拓けてくる研究フロンティア」

◎矢田勝俊(関西大学)

鷲尾隆 氏(大阪大学)

津本周作 氏(島根大学)

里村卓也 氏(慶應義塾大学)

*** 詳しくは、大会専用 WEB サイトの特別ページをご覧ください。**

◎セッション・リーダー

〔 概 要 〕

計測は科学の母(Mother of Science)として、科学の進歩をもたらし、新しい価値を生み出すイノベーションの源泉とされてきた。本来、管理は見えるものを対象としてきたが、いつしか見たいものだけを対象にし、視野を狭めてしまう危険を伴う。それだけに見えないものが見えたとき、既存のパラダイムが大きく変わることもある。元来、経営学は見えないものへのリスペクトを常に意識してきた。近年、様々な先端の計測技術は従来、見えなかったものを明らかにすることで、実務、学術の分野でフロンティアを開拓してきた。本セッションでは、多様な分野において、新しい計測技術がどのような事象を補足し、新しい価値を創造してきたのかを紹介する。